

市民公開講座

高度先進口腔医学講座インプラント・歯周病学分野 大学院開講記念

『安全・安心なインプラント治療』

平成 26 年

5/17 (土)

受付開始 : 13 : 30

講演 : 14 : 00 ~ 15 : 00

講演者 : 児玉利朗 教授

神奈川歯科大学大学院 高度先進口腔医学講座インプラント・歯周病学分野教授
横浜クリニック インプラント科 診療科長

会 場 : 横浜研修センター 7F 大会議室

参加費 : 無料

申 込 : 事前申込不要 どなたでも当日直接会場へお越し下さい

問合せ : 神奈川歯科大学附属横浜クリニック 地域医療連携室

電話・FAX 045-313-5047 (直通)

ホームページ <http://www.hama.kdu.ac.jp>



歯の欠損部分が生じる原因は、外傷などの特別な事例を除外すると、歯科の2大疾患(う蝕と歯周病)が原因となり、歯の喪失に伴う欠損補綴の必要性が生じます。これらの疾患は細菌感染症であり、特に歯周病は中高年者の歯の喪失の主な原因です。

たとえば、歯の欠損部分の治療法としてインプラント治療を選択した場合はどうでしょうか。歯を失った原因をそのままにして、欠損部分だけの治療を行うことは当然のことながら細菌感染のリスクを高めることとなります。すなわち、歯の無い部分だけの安易な治療は、インプラント周囲炎(インプラント周囲で生じる歯周病で、支える骨が減少する疾患)の可能性が高くなり、長期的な治療の成果が期待できません。

このような背景から考えると、残存している歯が歯周病に罹患している場合、歯周病治療により細菌量をコントロールして初めてインプラント治療を成功に導くことが可能となります。さらに、最大限の治療効果を得るには治療後のセルフケアと定期的なメンテナンス(細菌量を常に低いレベルでコントロール)が最も重要となります。

しかしながら、最近ではマスコミ・新聞紙上などで安易にインプラント治療を推奨する宣伝等もあります。インプラント治療ありきではなく、本質的にはお口の中全体に残存する歯の治療が適切になされて、インプラント治療の満足いく結果が得られるといっても過言ではありません。そこで、本講演では市民の皆様インプラント治療に対する正確な情報提供と治療法について提示したいと考えております。